

## アンケート結果

現在、領域7の学生優秀発表賞では、ポスター発表のみを審査対象としていますが、今後、口頭発表を対象とすべきか検討しております。

運営委員一同は、学生賞をさらに良いものとするために、より多くの方の意見を参考にさせていただきたく、2月に領域7全体に対してアンケート調査を依頼いたしました。

おかげさまで、前回と併せて62名の方から貴重なご意見をいただくことができました。

以下が結果となります。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

### 目次

- pp. 2-6 今回（2020年春）の結果
- pp. 7 類似データ比較、同一データ合算
- pp. 8-9 参考：前回（2019年秋）の結果

## 今回（2020年春）の結果

① 学生賞との関わりについて、選択してください。（複数満たす場合は、現在に近い方。学生賞の領域は問いません。）

- ・発表者として、学生賞に応募したことがある 5
- ・指導する学生が、学生賞に応募したことがある 12
- ・上記以外の正会員、賛助会員、審査員経験者等 27
- ・上記以外の学生会員（今回はこの選択肢で調査は終了となります） 3

① 発表者として、学生賞に応募したことがある から分岐

② 学生賞があることで、発表のモチベーションはあがりますか？

- ・はい 5
- ・いいえ 0

③ 学生賞のために、物理学会に参加することを決めましたか？

- ・はい 1
- ・いいえ 4

④ 学生賞（ポスター審査）のために、口頭からポスターにすることはありますか？

- ・はい 1
- ・いいえ 4

⑤ ポスター審査より口頭審査の方が名誉に感じますか？

- ・はい 3
- ・いいえ 2

⑥ ポスター審査・口頭審査のどちらかを望みますか？

- ・ポスター審査を望む 2 (1)
- ・口頭審査を望む 1 (0)
- ・その他（どちらとも言えない、両方等） 2 (0)

（括弧内の数字は次項目⑦で「重要な理由がある」とされた方の数）

⑦ 前の回答を選んだ重要な理由がある場合、その理由を記入してください。特に重要でない場合、記入の必要はありません。質問⑥・⑦では、票の多寡ではなく、それを選んだ理由を重視します。

ポスター審査を望む を選択

- ・ポスター発表の方が相手とやり取りができる分、相手の質問の意図をくみやすい。

⑧ その他、学生賞に関する意見・感想があれば記入してください。

- ・モチベーションになります！！
- ・参考文献として引用させていただいている方が審査員の場合、気まずい





① 上記以外の正会員、賛助会員、審査員経験者等 から分岐

② 学生賞の審査員を担当したことがありますか？

・はい 9 ・いいえ 18

③ 領域7の学生賞は、ポスター審査を採用しています。口頭審査に替わった場合、質疑応答は5分に限定され、審査の負担も増えると予想されますが、それを補って余りある利点があると思いますか？

・ポスターの方が利点がある 14 (10)

・口頭の方が利点がある 10 (5)

・その他（どちらとも言えない、両方等） 3 (2)

(括弧内の数字は次項目④で「重要な理由がある」とされた方の数)

④ 前の回答を選んだ重要な理由がある場合、その理由を記入してください。特に重要でない場合、記入の必要はありません。質問④・⑤では、票の多寡ではなく、それを選んだ理由を重視します。

ポスターの方が利点がある を選択

- ・審査時間を取られるくらいなら別の領域か応物に出すようにする
- ・ポスターの方が直接学生の力量を判断できる
- ・審査の負担が増える、領域間の行き来を妨げる
- ・真の学生の理解度や質疑応答能力を計れる。
- ・口頭発表は指導教員の指導が入りすぎており、学生自身の持つ物理描像・独創性の審査を行うことができない。
- ・ポスターでは質疑応答を十分に行えるため学生の能力をチェックしやすいという利点がある。口頭発表だと質問時間が限られているため正しく評価できるか懸念される。
- ・ポスターの方が議論の時間が長くとれるため、審査しやすいと考えられるからです。
- ・審査する時間の自由度が大きい
- ・質疑応答が短くて騙しの利く口頭に申し込みが殺到する。「指導教員の研究内容で評価されるので口頭発表による評価は良くない」という、ポスター賞導入当時の理念を反故にされる。
- ・ポスターの方が時間をかけて研究や人物を評価できるから。

口頭の方が利点がある を選択

- ・ポスター発表の質が低いから。
- ・全体の発表件数が減少傾向にあるので、可能な限り口頭発表を促した方が良い
- ・学生、教員ともよい研究は口頭発表を希望するケースが多い。口頭発表の方が多くの聴衆が聞くことができる。多くの場合、若手研究者や技術者の評価はプレゼンでなされる。その練習にも口頭発表は有効で、よい研究を賞があるからポスターで発表するというやり方は、学生の鍛錬の機会を教員が奪っているような印象がある。領域7では発表件数を増

やすことを目的にポスター発表を開始したと伺っているが、現実には総発表件数は減少していると聞いている。したがって、ポスター発表の意義はすでにあまりなくなっており、さらにポスター発表を奨励するポスター賞も意味を失っていると思う。ポスター賞の意義は、オーラル枠が少なくよい発表が多数ポスターになるときのみに有効なのであって、現状ではポスター賞の意義は高くないように感じる。また、他領域では口頭発表が学生賞の対象となっており、その点でも領域7の現状の方針は疑問に感ずる。

- ・優れた口頭発表が賞のためにポスターに流れると領域活性化に繋がらない恐れがある。
- ・学生賞がポスターにしかないことを理由に、学生さんの発表がポスターに流れてしまうことを危惧しています。本来は学生にも口頭発表をするのを Encourage するべきだと思います。

その他（どちらとも言えない、両方等）を選択

- ・ポスターの方が内容をじっくり聴けるが、発表は行為自体にそれなりにハードルがあるので、賞としてトップを選ぶので有ればそれぞれ考慮する必要がある。が
- ・そもそも学生賞に応募できる研究発表は限られており、学生自体の研究能力のみを証する審査などできないため、審査員の負担軽減のため、どちらかに絞るべきであり、事前書面審査などを導入すべきで、審査対象のみのセッションを作るなどすべきではないか。

⑤ 口頭審査に替わった場合、審査員の確保が課題となります。学会中の貴重な時間を審査に割いていただくこととなりますが、打診が来たら快く引き受けていただけますか？

- ・はい 20
- ・いいえ 7

⑩ その他、学生賞に関する意見・感想があれば記入してください。

- ・一般会員，学生会員を問わず，学会発表の真の目的から外れないように。
- ・審査が大変ですが、口頭発表賞とポスター賞を分けるべきかと思えます。
- ・正直学生賞は廃止を検討した方が良いと思えます。そもそも領域ごとに縦割りにするも現在の潮流に沿っていないと感じます。
- ・学部・修士・博士と階級別に表彰してもよいと思えます
- ・くれぐれも指導教員の品評会とならないよう審査員は留意するべきだ。
- ・口頭発表での評価は若手研究者以上の経歴がある人物の賞には向いている。一方、学生が対象に入っている表彰の場合は、ポスターのほうが、各学生個人の実力を評価できる。
- ・良い試みなので続けてほしいです。
- ・質疑応答は不自然に5分で打ち切る必要はなく、努力目標でよいと思えます。
- ・特になし
- ・上述のように、学生賞自体に公平性を期すことは難しいが、できるだけ公平審査をするなら、学生証候補セッションなどの工夫をして、審査員負担軽減をすべきでは。



## 参考：前回（2019年秋）の結果

### 学生優秀発表賞の応募経験あり（3名）

1. 学生優秀発表賞があることで、研究発表へのモチベーションがあがりますか？

はい：2件、いいえ：1件

2. 学生優秀発表賞のために、口頭発表よりポスター発表を選択することはあります(した)か？

はい：2件、いいえ：1件

3. 学生優秀発表賞があるために、物理学会に参加することを決めましたか？あるいは同じ理由で先生に参加を勧められたことはありますか？

はい：2件、いいえ：1件

4. ポスター発表より口頭発表で審査された方が名誉に感じますか？

はい：1件、いいえ：2件

5. 学生優秀発表賞が口頭発表のみの場合、ポスターから口頭発表に切り替えますか？

はい：3件、いいえ：0件

6. ポスターの審査による学生優秀発表賞が無くなった場合、発表自体を取りやめる可能性はありますか？

はい：0件、いいえ：3件

### 審査員（12名）

1. ポスター発表で学生の力量を十分測れましたか？

はい：11件、いいえ：1件

2. ポスターよりも口頭の方が、学生の力量が測れると思いますか？

はい：1件、いいえ：11件

3. 口頭発表では審査の負担が増えることが予想されますが、それを補って余りある利点はあると思われませんか？

はい：1件、いいえ：11件

4. 現在のポスター審査における審査委員の負担具合はちょうどよいですか？

はい：11件、いいえ：0件、その他：1件

### （その他で寄せられたコメント）

基本的に問題ない負担の程度だと思うが、賞をとる気概のない発表の審査は精神的に消耗するので避けてほしい。

### コメント

1. 明らかに賞をとろうというほどのやる気のない発表の審査に当たったこともあった（例えばアブストが出ていない発表など）。審査負担や賞のクオリティ維持のためにも、スクリーニング、もしくは、本当に賞を取る気がある人のみ応募するように周知するべきかと思う。

2. 私が所属する研究室は、口頭発表を優先する傾向にあるため、学生優秀発表賞の審査対象が口頭発表である領域4を主として登録し、領域7を合同希望として登録してきました。研究室に

よっては発表形式によって優先度が異なる可能性があるかと思います。

3. 基本的にポスター発表の方が学生の実力を測れるので、学生賞には好ましい。ポスター発表の最大の欠点は、優秀な発表が口頭発表からポスター発表に流れてしまうという点だと思う。なので、ポスター発表と同内容の口頭発表を許可するということが審査負担からも最善の解だと思う。ただし、そのためには年次大会の1発表縛りや、業績のダブルカウント問題をうまく回避することが不可欠ですが、これはなんとか方便を見つけてやってもらえないでしょうか。例えば、次回学会での受賞記念講演とかで（M2, D3 問題はあがるが、ある程度は諦めるしか無い）
4. 経緯をちゃんと理解している訳ではありませんが、ポスターのみを対象とするなら、賞の名称を、学生優秀ポスター賞などとした方が良いと思います。口頭発表よりポスター発表の方が質的に落ちる印象は受けました。もし学会の規定で、学生優秀ポスター賞等への名称が変更できないなら、口頭発表も審査に含めるべきかと思います。ただ、口頭発表は4日間に分散していますので、審査が煩雑になりすぎます。そこで、審査を希望される口頭発表については、口頭発表に加えて、ポスターセッション時に、口頭発表の内容についてのポスターを発表してもらうのは如何でしょうか？このようにすれば、一回のポスターセッションの時に、優秀賞の審査を済ませることができそうですので、審査の効率性と公平性が保証されるのではないかと思います。ただ、口頭発表に加えてポスター発表をすると、形式上同一内容で2回登壇することになってしまうので、その点のテクニカルな点は議論が必要になってくるかもしれません。
5. 審査自体を WEB からできるようにしてもらえると助かります。
6. 学生に声をかけるきっかけになったので良かった。